

春日井市生涯学習推進計画骨子案
サンプル

基本目標 1

いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

～ 春日井の底力 ここにあり ～

学習の機会を多彩に設けることにより、多くの市民が学習活動に参加できる可能性が広がります。市民一人ひとりが、それぞれの目的、ニーズに応じて、生き生きと活動でき、誰もが意欲的に学び続けることができる、また新たな学習意欲を高める環境づくりを進めます。

本計画において、生涯学習を、まちづくりのための人材育成の場とも捉えています。本市は、他市町と比べ、優れた知識や技能を持つ人材が豊富にあると考えられ、これらの潜在能力“春日井の底力”を生かし、多様な市民の学習ニーズに対応するとともに、まちづくりへとつなげていきます。



基本目標1の体系

計画のめざす姿

1. 学ぶことによって得た知識や技術をまちづくりに生かします
2. 団塊世代が学習の場で活躍します
3. 地域で活躍できる人材を発掘し、育成します
4. 地域の生活課題の解決に向けて取り組みます
5. 学習を通じて高齢者が生きがいを持ち、健やかに豊かな生活を送ります
6. 鑑賞・参加することで芸術・文化を身近に感じます
7. だれもが気軽にスポーツに親しみ、楽しみます

施策

- ① 各年代に応じた学習内容を充実します
- ② 夜間や休日の講座を充実します
- ③ 障害のある人や高齢者向けの講座を充実します
- ④ 地域における指導者を発掘し、育成します
- ⑤ 現代社会における様々な課題や、地域特有の課題に対応し、地域で活躍できる人材を育てるためのプログラムを充実します
- ⑥ 芸術や文化に触れ、趣味や創作活動に生かせる環境をつくりま
す
- ⑦ 市民の健康づくりや生きがいづくりのため、各年代に対応した生涯スポーツ活動を支援します

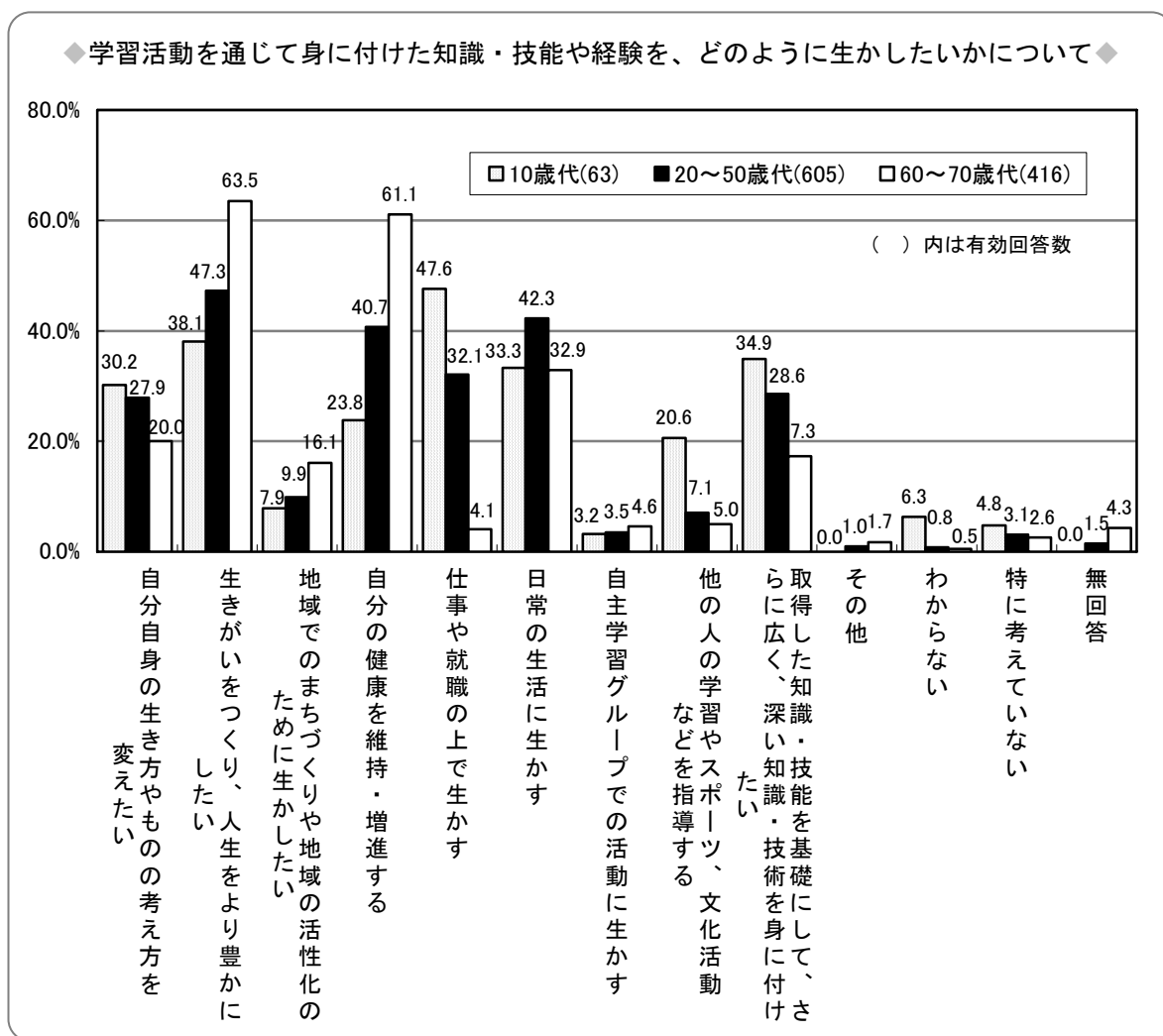
施策① 各年代に応じた学習内容を充実します

現状と課題

現状において、学習したいと思ってもきっかけがつかめない人、仕事、子育てや介護のために学習に参加しにくい人など、すべての人が学ぶことができる環境が求められています。

また、乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期の各ライフステージの中で、それぞれにふさわしい学習内容が得られるよう、学習機会を整備する必要があります。

市民アンケート調査において、10歳代は、専門知識や仕事や就職に役立つもの、60～70歳代になると、生きがいや健康づくりのための学習を望んでいます。



資料：春日井市生涯学習推進計画策定に向けた市民アンケート調査（平成18年）

具体的な取り組み

(1) 乳幼児期

近年、核家族化、少子化によって、子ども一人ひとりに目が行き届くようになったことによる過保護や、一方で、無責任な放任による事件、事故が増えており、家庭の教育力の低下が問題になっています。

このため、子どもが伸び伸びと育つ環境づくりに努めるとともに、子どもを安心して生み育てていくことができるよう乳幼児を持つ親やこれから親になる人への子育てについての学習の提供が必要になっています。

今後、親子のふれあいの機会や家庭教育に関する学習を充実します。

① 核家族化や少子化への対応として、子育てに関する知識や技術を身につけるための学習内容と学習機会を充実します。

- ・ ○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○

② 親と子の基本的な信頼関係を形成するために、親子で参加できる講座を充実します。

- ・ ○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○

③ 子育てに不安を持つ親を支援します。

- ・ ○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○

(2) 青少年期

青少年においては、基礎的・基本的な教育が一層重視されるとともに、情報化、国際化に代表される社会の変化に対応できる能力が求められています。

また、自己発見に結びつく学習やスポーツ活動、仲間とのコミュニケーションができるふれあいの場が必要であり、ふれあいや交流を重視した講座などを充実します。

① ボランティア活動等にかかわる機会を充実し、青少年の社会参加を推進します。

- ・ ○○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○○

② 感謝の心や責任感、自立心を育てるための学習を充実します。

- ・ ○○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○○

③ 就業や自己発見につながる学習を充実します。

- ・ ○○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○○

④ 国際性をはぐくむために、国際理解に関する学習を推進します。

- ・ ○○○○○○○○○○
- ・ ○○○○○○○○○○

(3) 成人期・高齢期

成人は、子育てにかかわる学習、就業や日常生活の中で生かせる専門的な学習だけではなく、高齢期を展望した生きがいづくりに結びつく多様な学習を求めています。

また高齢者は、生涯学習により、仲間づくりや生きがいをさらに高めていくことを必要とし、多様な学習機会を求めています。

そのため、各種講座を充実します。

① 団塊の世代を講師として活用し、講座を開催します。

・ ○○○○○○○○○○

・ ○○○○○○○○○○

・ ○○○○○○○○○○

② 地域の福祉や環境などの生活課題に対する学習を進め、地域の課題解決に取り組めます。

・ ○○○○○○○○○○

・ ○○○○○○○○○○

・ ○○○○○○○○○○